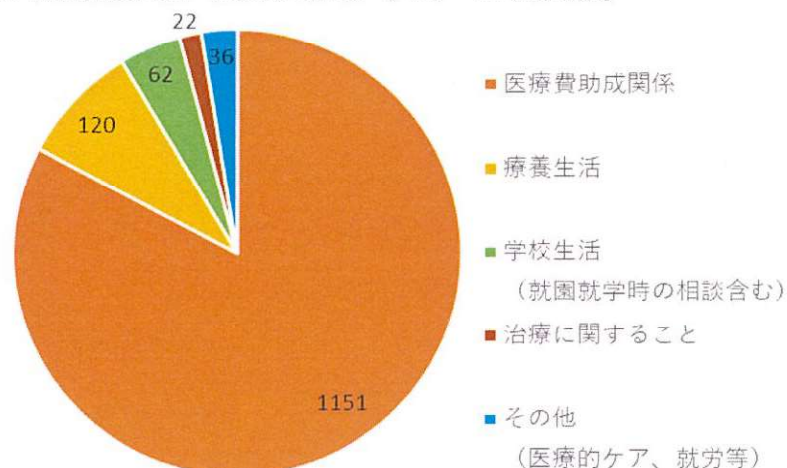


熊本県における小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

資料5ー1

【R6年度相談内容・種別の割合】（4月～12月実績）



【R6年度相談件数】（4月～12月実績）

相談内容／相談種別	電話相談		面接相談		その他 (メール等)		訪問		合計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
医療費助成関係	366	422	631	724	1	1	4	4	1002	1151
治療に関すること	1	1	18	18	0	0	3	3	22	22
療養生活	15	24	87	89	0	0	7	7	109	120
学校生活 (就園就学時の相談含む)	1	24	21	21	1	12	2	5	25	62
その他 (医療的ケア、就労等)	15	23	10	10	0	0	3	3	28	36
合計	—	494	—	862	—	13	—	22	—	1391

＜事業実施状況＞

- ・来所時に相談票を用いた聞き取りを行っている（困っていること、医療の状況、受診状況、福祉制度の利用状況、個別相談や家庭訪問の希望の有無など）。また、災害時の備え（避難方法や避難場所、避難物品の準備、周囲のサポート体制）について確認を行っている。
- ・更新申請者及び新規申請者を対象とした保健所独自のアンケートを実施。療養状況と災害時対応について聞き取りを行った。
- ・市町へ災害時の個別対応について周知を行った。
- ・市町村母子担当者会議において、各市町村における避難行動要支援者の対象者を把握し、登録を希望する対象者を市町村へつなぐことを目的として、市町村の対応を整理し一覧表を作成、市町村担当窓口の確認を行い難病主査とも共有した。また、小慢受給者を対象としていない町村については、他市町村の要綱や条例を情報提供し、災害対策基本法に基づく名簿作成に係る市町村への情報提供依頼への対応についても周知した。
- ・今後、2月に家庭訪問を予定している。
- ・個別訪問より、災害時個別支援計画の立案を実施。（人工呼吸器装着している児童）
- ・管内市役所から当該市内の小慢受給者の把握のための情報提供依頼あり。
当該市在住の受給者名簿（受給者氏名、生年月日、住所、保護者電話番号、病名、人工呼吸器使用有無）の情報提供を行った。

＜現状と課題＞

- 医療費助成に関する相談が多い。
- 医療費の申請の機会を通じて困っていることや不安を確認している。
- 災害時の対応が支援の入り口になることがある
- 疾病が多岐にわたるため、どのように支援を行うのかイメージが難しい。
- どのように関係機関と連携すべきかが難しい